



12月12日 | 練習の成果を存分に発揮！
善来寺保育園生活発表会開催！

「放水」

撮影／佐谷禎介



ピンポケ会



俳句会

(十一月例会)

大庭土筆選

特選

子らの桴大地ゆるがす神の留守

野上マチ子

願はくば貧乏神も発ちて欲し

摩治 廣子

本選

大鯉の口いっぱいの小春かな

畑江 秀文

百歳のミシンの音や縁小春

原口 孝子

流れ藻のつづる紋様浜小春

花田ムツ子

短歌会

(十二月例会)

互選

古箏の底にねむりし雨コート孫の卒業に用立てしもの

茂手木こと子

盆栽の小さき世界も四季がある楓は紅葉インスタ映えす

井上あつ子

錦木はすでに散りたり小春日に黄の石路がひっそりと咲く

木原トシ子

神木と呼ばれる鎮守の公孫樹銀杏落として悪臭放つ

中山 陟

竹林に輝きのぼる満月を仰ぎて冷ゆる晩秋の宵

金田トシ子

編集＊後記

▶明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈りします。

年末年始は実家に帰省するなど、家族と

過ごす時間が増える時期だとは思いますが、今年はコロナ禍の影響により自粛する人も多いのではないのでしょうか。昨年は、コロナウイルス感染拡大により、世の中の当たり前が、当たり前ではなくなった年であったと思います。両親、家族、友人たちと過ごす時間も当たり前ではなくなった今、「限りある時間」について本当によく考える一年となりました。そんな中、興味深い記事を見つけましたので、紹介いたします。某時計メーカーが2019年に調査したもので、「両親と直接会って話す時間は残りどのくらいなのか？」という記事です。私の年齢を例にすると、「両親と別居している35歳～39歳の人」が、母親と直接会って話す残り時間は「26.1日(626時間)」で、もう1か月を切っているそうです。父親の場合は、およそ半分の11.5日(276時間)と更に短くなり、すでに2週間を切っていることに大変驚きました。コロナ禍の中、大切な人に会えない今だからこそ、皆さまも「時間の大切さ」について改めて考えてみてはいかがでしょうか？

2021年は、「大切な人」と「大切な時間」を当たり前で過ごせる、そんな日常が戻ってくることを心より願っております。(上田耕太郎)。

